



	調 査 年	都道府県	管理番号	市 区 町 村	整 理 番 号	抽出階層
基 本 指 標 番 号	┆┆┆	┆	┆	┆┆┆	┆┆┆┆	┆

記入の際は、以下の点に御留意ください。

- 記入の際は、黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
-  で囲まれた記入欄は集計項目ですので、**必ず記入**してください。
記入に当たって、数字が枠からはみ出さないように記入してください。
-  で囲まれた記入欄は補助欄ですので、必ずしも記入の必要はありませんが、
飼養実態を調査票に正しく御記入いただくために活用してください。

記入していただいた調査票は、 月 日 までに提出ください。

記入に当たって不明な点等ありましたら、裏面の連絡先までお問合せください。

また、調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

なお、オンラインにて回答いただいた場合は調査票の返送は不要です。

法人番号（法人番号を確認いただき、記入してください。
なお、会社等法人経営以外は記入不要です。）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

1 出荷羽数

令和〇年2月1日現在で、過去1年間（令和〇年2月2日～令和〇年2月1日）に出荷した羽数を百羽単位で記入してください。

		千万	百万	十万	万	千	百	十	羽
出荷羽数	(1)	.	.	.	.	:	:	0	0

~~出荷羽数のうち、地鶏及び銘柄鶏
の羽数を百羽単位で記入してください。~~

[illegible]

2 飼養羽数

令和〇年2月1日現在で飼っている羽数を百羽単位で記入してください。

		千	万	百	十	羽
飼養羽数	(2)	:	:	:	:	00

飼養羽数のうち、地鶏及び銘柄鶏
の羽数を百羽単位で記入してください。

[illegible]

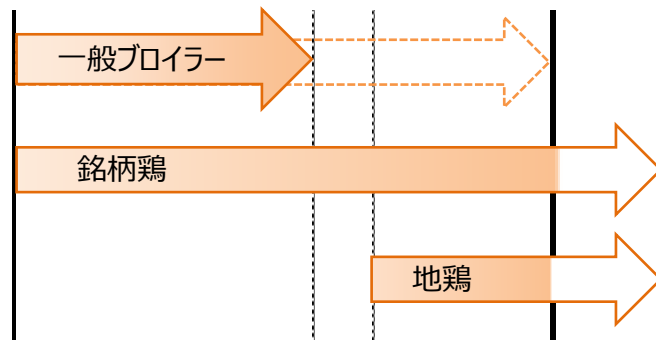
 記入のポイント

出荷羽数(1)、飼養羽数(2)

最初から肉用目的で飼養している鶏（採卵鶏の廃鶏は含まない）であれば、「肉用種」「卵用種」の種類を問いません。

調査票にご記入いただく鶏の範囲

ふ化後3か月未満の間に肉用として出荷する鶏であれば、地鶏や銘柄鶏も含まれます（下図参照）。



ふ化後
0日

60 目 75 目

90日
(3か月)

銘柄鶏：一般社団法人日本食鳥協会の定義により、
出荷時に「銘柄鶏」の表示がされる鶏

地 鶏：特定JAS規格の認定を受けた鶏（ふ化後75日以後に出荷）

※2月1日現在で「オールアウト」中で飼養羽数がない場合は、今後飼養する予定の羽数（「オールイン」する予定の羽数を含めて）を記入してください。

調査に御協力いただき、大変ありがとうございました。

調査事項はここまでですが、お手数でなければ、裏面の【記事欄】にも御記入願います。



【記事欄】

差し支えなければ、出荷羽数及び飼養羽数の増減理由等について、**該当する番号に丸印（複数選択可）**をし、**具体的な内容について記入**をお願いします。

○ 増加した理由

- 1 取引価格が堅調に推移しているため
- 2 後継者あるいは必要な労働力が確保できたため
- 3 出荷のタイミング等により一時的に羽数が減少していたが、回復したため
- 4 高病原性鳥インフルエンザ等の発生による殺処分があり飼養休止状態となっていたが、再び飼養を開始したため
- 5 その他

（具体的な内容）

○ 減少した理由

- 6 取引価格の低迷のため
- 7 後継者不足、労働力不足のため
- 8 生産コストの上昇が経営を圧迫したため
- 9 出荷のタイミング等により一時的に飼養羽数が減少したため
- 10 高病原性鳥インフルエンザ等の発生により殺処分となったため
- 11 その他

（具体的な内容）

○ その他

- 12 過去1年の間に農場を新設又は増設した



【連絡先】

